

文京区立第九中学校 校長室通信

「文京九中 ここにあり」



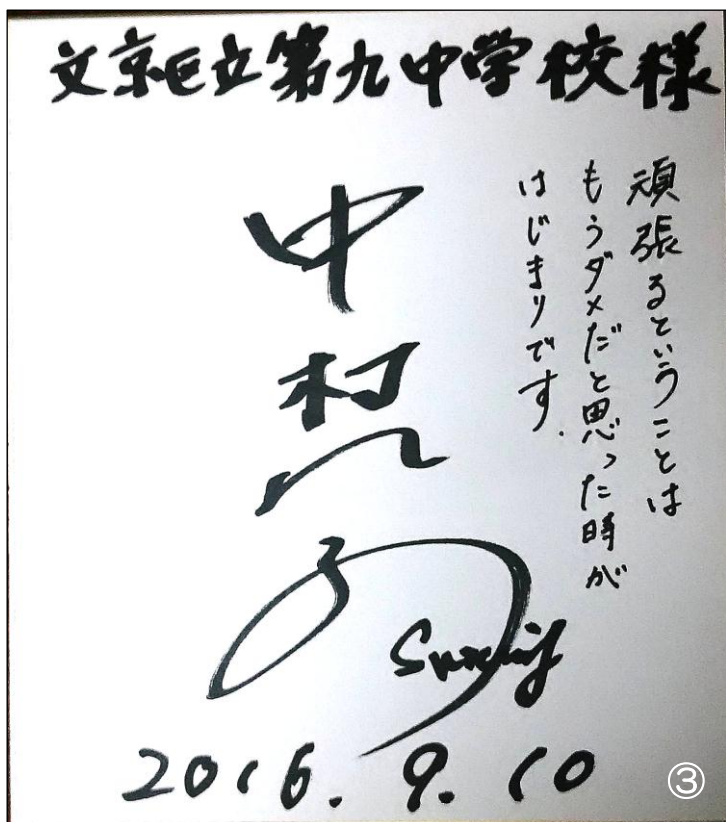
平成28年度 第5号
平成28年10月11日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝
 ■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955
 ■ H P <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/daikyuu-jh/>

オリンピックとの交流・講演会 ～水泳・中村礼子さんが来校しました～

9月10日(土)の土曜授業公開は、2004年アテネ、2008年北京オリンピック女子200m背泳ぎ銅メダリストの中村礼子さんを講師に迎え、2年女子との交流授業と全校での講演会を実施しました。交流授業では、分かりやすく背泳ぎのコツを教えていただき、多くの生徒が技能を伸ばすことができました。また講演会では、「夢に向かって生きる」という題で、ご自身の経験をもとに「まず一步を踏み出してみる」ことや「夢を実現させるんだ」という強い気持ちが必要であることを分かりやすく話していただきました。特に、色紙にあるように「頑張ると言うことは、もうダメだと思ったときが始まりです」という言葉には、アスリートならではの言葉の重みと意志の強さが強く感じられ、生徒の皆さんも感銘を受けていました。九中生の皆さんが、中村礼子さんからいただいた勇気を日々の生活に生かすことができることを願っています。



- ① 交流授業後に2年女子生徒と一緒に記念撮影
- ② 全校生徒対象の講演会
- ③ 見事に全員ジャンケンを勝ち抜いた2人が銅メダルを掛けてもらい一緒に記念撮影
- ④ 中村礼子さんからのメッセージ入り色紙

九中の特色！「新聞への意見文」投稿 ～ 2学期掲載分の紹介（その1）～

本校の特色ある教育活動の一つとして、今年も新聞への意見文投稿を勧めています。2学期もすでに3年生2人、2年生4人の意見文が掲載されましたので紹介します。

※ 産経新聞「ひこばえ倶楽部」 平成28年9月19日（月）掲載

歴史から人の生き方を学ぶ

中学生 宮田 龍芽（14） 東京都文京区 [3年2組]

歴史というと年号や出来事の暗記ばかりで、果たして学ぶ意味なんてあるのだろうか。つい最近まで僕はそう思っていた。しかし、その考えは変わった。きっかけは、NHKの大河ドラマ「真田丸」を見るようになったことだ。興味を持って深く歴史を見つめると、陰謀やらロマンが渦巻いていることがわかった。

触発された僕は、坂本龍馬と織田信長の伝記を読んでみた。気楽に読みたかったのですが、漫画本を選んだのだが、内容は濃く、面白くて読み始めたら止まらなかった。龍馬からは、反対されても自分の信念を最後まで貫き通す意志の強さを学んだ。信長からは、自分の利益だけ考えて物事を強引に進めていくと、最後の最後には人がついてこないことを学んだ。

人の生き方を探るという視点で歴史を学ぶと、これからの生活に生かせる知恵が見えてくる気がする。次はペリーの伝記を、漫画ではなく普通の本で読んでみたい。

※ 東京新聞「若者の声」 平成28年9月21日（水）掲載

歴史を学んで自分を見つめる

中学生 野原 みき（15） 東京都文京区 [3年2組]

歴史はどこからどこまでを指すのだろうか。私が考える歴史は人類が誕生するずっと前から、今生きている1秒前までだと考える。だとしたら、私は歴史を学ぶことに意味があると思う。なぜなら、今この瞬間もどンドン時代は変わっていて、新しい歴史がつけられているからだ。

過去を振り返ることは昔の自分を知るチャンスになる。もちろん、自分の生まれる前も歴史なのだから、昔の出来事を知ることができる。歴史を知ることによって新しい自分や物事を見つけることができる。

もし、考え方が間違っても新しい何かにつながると考えるとおもしろい。昔が今、そして未来を変えていくのだろう。もしかしたら、歴史は身近にある「宝庫」なのかもしれない。

※ 毎日新聞 みんなの広場 平成28年9月28日（水）掲載

寺院で職場体験

中学生 守屋 圭（14） 東京都文京区 [2年3組]

普通は、職場体験というとコンビニやファミレス、幼稚園などが思い当たります。でも僕は、お寺を選びました。仏教にも興味があったため、今回、お寺へ体験に行ったのです。

仕事の内容は、基本的には掃除です。初日は、墓地の掃除をしました。落ち葉を集め、線香の灰を掃除し、最後に花入れに入った雨水を全て抜きました。

二日目は、卒塔婆の裏書きを体験しました。字が下手でも、心を込めればよいと言われました。板に書くのはとても難しく苦労しました。僕たちが書いた卒塔婆は、水子さんたちのものでした。水子さんというのは、生まれてすぐに亡くなってしまったり、おなかの中にいたときに亡くなってしまったりした赤ちゃんのことです。みんなで、頑張っておきました。

最終日は、港区にある大きなお寺に行ってきました。午後は、初日のように墓地の掃除をしました。一日目とはまた別の気持ちで掃除をし、心を込めてやりました。本当によかったと思いました。

※ 毎日新聞 みんなの広場 平成28年9月29日（木）掲載

保育体験で学んだこと

中学生 菊川 成美（14） 東京都文京区 [2年3組]

私が、保育園を職場体験先に選んだ理由は、小さい子が好きだからだ。

楽しいだろうなと思っていた。しかし、それは私の勝手なイメージで、本当はとても体力を使い、気も遣う大変な職業だった。おもちゃの取り合いで、2人同時に泣いてしまったときは本当に困った。昼寝後におむつを替えなくてはいけなくて大忙しだった。勉強になったことも多い。年齢の異なる園児が交流することで、新しい言葉を覚え、コミュニケーション能力が高まるのだなと思った。自分ができないことを、先生にやってもらうのではなく、年が違う子にやってもらうことで、それぞれの成長につなげることも学んだ。将来、どんな仕事を選ぶかは分からないが、選択肢の中に保育士が入っている。好きなことが仕事になれば良いが、そうではないこともあるだろう。でも苦手なことも嫌がらずに体験すれば一歩前に進むことも学べた。保育園で職場体験ができてとても感謝している。

※ 産経新聞 ひこばえ倶楽部 平成28年10月3日（月）掲載

職場体験で働く喜びを知る

中学生 星野 凜（13） 東京都文京区 [2年1組]

職場体験学習で、ハンバーガーショップに行った。店の方はみんな優しく、不安ばかりの私に一つ一つ丁寧に教えてくださった。

初日はあいさつなど基本的なことを教わったが、とっさに声が出なかった。二日目と三日目は少し慣れたが、メニューの名前を忘れたり、商品を届けるテーブルを間違えたり、失敗も多かった。でも「ありがとう」「ごちそうさま」と声をかけてくれるお客さんがいてとてもうれしかった。

私は今まで「働く」ということに対する認識があいまいで、深く考えもしなかった。しかし、3日間の職場体験を通して、「働く」ということは苦労や悔しい思いをすることもあるが、それを乗り越えたときの達成感を知ることができるのだとわかった。

今回は「中学生だから」と許されたこともあったと思う。この体験を生かし、自分に足りないことと向き合い、社会人になるまでにたくさんのことを学んでおきたい。

※ 東京新聞 若者の声 平成28年10月5日（水）掲載

職場体験して親の苦労思う

中学生 鈴木 健太（13） 東京都文京区 [2年3組]

総合の授業で本駒込図書館に職場体験に行き、二つのことを感じました。

一つは、仕事量の多さと大変さ。本が膨大にありました。本を返却するときの仕事は3人がかりでやりましたが、多くの人がやってくるので、元の場所に戻しても返却の本が減る気配が全くありません。他に、破れたり壊れたりしている本を直す仕事もしました。図書館の人に聞くと、1日に約30冊もの本が壊れてしまっているとのことで、僕はこれから、今以上に本を丁寧に扱おうと思いました。

二つ目はお金の大切さ。体験中はいつもの何倍も体力を使い、精神的にきつい思いをしました。毎日仕事をしている父や母は常にこれくらい頑張っていて、僕らが生活するお金が生まれるのだと感じました。



平成28年度道徳授業地区公開講座のお知らせ ～10月14日（金）・15日（土）～

10月15日（土）は、パラリンピアンとの交流・講演会を実施します

10月14日（金）・15日（土）の2日間で、道徳授業地区公開講座を実施します。特に15日（土）の土曜授業公開は、9月のオリンピック・中村礼子さんに続いてパラリンピアンの大前千代子さんを講師に招き、交流授業と講演会を実施します。保護者、地域の皆様もどうぞお気軽にご参加ください。

期 日	時 程	対 象	内 容	場 所
10月14日（金）	9:40 から 10:30	1年	○ 道徳授業公開 「オリンピック選手から学ぶ」	1年各教室
10月15日（土）	8:40 から 9:30	1年	○ 体験授業 「車いすテニスのパラリンピアンから学ぶ」	体育館
		2年	○ 道徳授業公開 「スポーツ選手から学ぶ」	2年各教室
		3年	○ 道徳授業公開 「パラリンピック選手から学ぶ」	3年各教室
		6組	○ 道徳授業公開（於：） 「スポーツ選手から学ぶ」	1年6組教室
10月15日（土）	9:40 から 10:30	全校	○ 道徳講演会（於：体育館） 「努力することの大切さを学ぶ教室」 講師 大前 千代子 氏 2004 アテネパラリンピック 車いすテニス女子ダブルス第4位入賞	体育館
	10:50	全校	○ 生徒下校	
	11:00 から 11:40	1年 2年 3年 6組	○ 学年・学級懇談会（保護者会） ① 学校、家庭、地域における子どもたちの様子について ② 本校の道徳教育について ③ 本日の授業、講演について など	1年：図書館 2年：2年3組教室 3年：音楽室 6組：1年6組教室

大前 千代子（おおまえ ちよこ）さんのプロフィール

◆ 略 歴

1956年1月2日生まれ。広島県出身。生後一歳半でポリオ（両下肢弛緩性麻痺）にかかる。1980年オランダアーヘンでのパラリンピックに初出場、アーチェリーで金メダル。2男の出産・育児を経て車いすテニスに転向し、アトランタから北京まで4大会連続パラリンピック出場。現在も国内外の大会で活躍中。



◆ パラリンピックにおける成績

- 1980年オランダ・アーヘンパラリンピック
アーチェリー金メダル、スラローム銅メダル
- 1996年アトランタパラリンピック
車いすテニス出場
- 2000年シドニーパラリンピック
車いすテニス ダブルス第4位入賞
- 2004年アテネパラリンピック
車いすテニス ダブルス第4位入賞
- 2008年北京パラリンピック
車いすテニス 出場

